

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2020年2月26日

事業所名:芦屋アフター・スクール

サービス種類:放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導訓練室のほか、和室や個室などを用意して、十分くつろげるスペースを確保している。	○	今後も一人一人がゆったり過ごせるスペースを確保していきたい。
	2 職員の適切な配置	安全を最優先に、適切な体制を整えている。	○	子どもの人数・特性に合わせて、今後も適切な人数配置を心掛けたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	見通しの良い間取りや段差のない構造で、障害の特性に応じた作りになっている。	○	今後も保護者に丁寧に説明を行っている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	常に清掃や換気を行い、空気清浄機を使って、清潔な環境を維持している。	○	今後とも清掃を続け、清潔や空気清浄に心掛けたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の会議や打ち合わせにて、振り返りを行い、目標を再確認している。		今後も情報の共有や会議打ち合わせの時間を確保したい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		県の実地指導を受けているが、今後外部評価を実施できるよう検討したい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内研修を含め、対象者には教育訓練や役職者研修など多くの研修プログラムが用意されている。		専門的な研修に参加する機会を増やし、施設内でも研修を行う。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	本人・保護者のニーズを踏まえ、丁寧に実態を把握しながら、支援計画を作成している。	○	検査結果や直接観察により丁寧に実態把握し、計画作成から評価の流れを定着させたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	プログラム自体が個別活動と集団活動に分かれており、それぞれの場面での計画を作成している。	○	今後ともそれぞれの場面に合わせた支援計画を作成していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画作成の際は、できるだけ具体的な場面や支援の手立てを記載するよう心掛けている。	○	今後とも誰が見てもわかるように、具体的な支援場面や手立てを考えていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画の立案から支援の実施、振り返りを含めて適切に実施している。	○	面談などを実施し、直接保護者の声を聞いて、よりよい支援計画を作っていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	会議や打ち合わせの時間に、活動の内容を検討し、全体でプログラムを立案している。	○	今後も同様に実施していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校休業日には、9:30より受け入れていて、平日とは違う特色のある活動内容を用意している。	○	今後も平日と学校休業日と、メリハリのあるプログラムを用意していきたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの興味関心を優先して、それぞれ飽きのこないよう制作活動、音楽活動、スポーツ等幅広い内容の活動を工夫している。	○	さらに充実感を味わえるようプログラムを工夫していきたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝、打ち合わせの時間を確保し、全員に周知徹底している。		今まで通り実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日に職員間で振り返りを行い、気付いた点や反省点などを話し合う機会を設け、次回の支援に活かしている。		今まで通り実施していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の支援内容は、当日に共有フォルダに記録し、職員全員が共有把握できるようにしている。		今まで通り実施していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	会議等での話し合いや日々の申し送りを踏まえて、必要ならば支援計画の見直しを行う。		今まで通り実施していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児発管とその子どもの状況に精通した職員が参画している。		今後連携をとりながら、参画していけるようになっていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在該当する子どもはいない。		今後必要な場合は連携していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在該当する子どもはいない。		今後必要な場合は連絡体制を整える。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	この度初めて卒業する利用者があるため、個別支援計画などの情報提供を予定している。		今後も各機関と連携し、情報を収集し共有する。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当する子どもはいない。		今後も各機関と連携し、情報を共有する。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門性を高めるため、発達障がい者支援センター主催のさまざまな研修に参加している。		今後もできる限り、研修会に参加していく。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の児童センターの催しに共に参加するなどの活動を計画している。	○	今後もできるだけ障害のない子どもと活動する機会を設け、継続していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	施設内で地域住民に開かれた週1回のイベントが開催されていて、いろいろな行事を企画運営されている。	○	今まで通り実施していく。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に、支援の内容や利用者負担等の話をわかりやすく説明している。	○	説明はしているが、分かりにくいところがあれば、その都度聞ける環境を作る。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別に面談する時間をとって説明しているが、面談する時間がとれない場合もあった。	○	できるだけ時間をとって、直接説明していきたい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在は実施していない。	○	今後、保護者会などと同時にペアレント・トレーニングなどの研修を行いたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時、電話等で共通理解を行っている。	○	さらに連絡を密にして、共通理解が図れるよう徹底したい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談があれば、その都度話を聞くなどしてアドバイスを行っている。	○	今後も丁寧に対応していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は実施していない。	○	今後、ペアレント・トレーニングなどと同時に保護者会などを実施したい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情相談窓口の明記、説明をしている。苦情があった場合は、迅速な対応を心掛けている。	○	施設便りなどを通じて、定期的に苦情相談窓口について説明する。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	分かりやすい説明や、連絡方法など個別に対応している。	○	今後も配慮していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のペースで施設便りを発行して情報提供している。	○	今後も実施していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイルは鍵付き書庫で保管し、個人情報・写真掲載時の同意書を契約時にいただいている。	○	今後も個人情報の取り扱いには十分注意を払う。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作成している。	○	施設の概要やそれぞれの手順など、簡単なプリントを作成し、契約時に保護者に説明する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	館全体での避難訓練を含め、施設での訓練をその都度想定を変え月1回程度実施している。	○	避難訓練の様子を施設便りなどで保護者に伝えていく。
	3	虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	虐待防止のマニュアルを職員に周知徹底している。		今後虐待防止研修などの参加する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在は、該当する事例はない。		マニュアルの作成はしている。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギー有無の確認を行う。ある場合は検査結果や医師の指示書を確認する。		おやつの場面や調理の際は、食物成分を確認して完全に除去するなど、アレルギー対応を徹底して行う。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書をいつでも閲覧できるように共有している。		日ごろから、ヒヤリハットな事例を出し合い、話し合う時間を設けていく。